

緊急時対応マニュアル

1. 非常時の対応並びに事故等の予防について … P 2～4
2. Jアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対応について … P 5



2019年4月改

1 非常時の対応並びに事故等の予防について

1. 事前のご確認事項

(1) 避難経路をご確認ください。

⇒ 別紙、避難経路図をご参照ください。

(2) 消火器設置個所をご確認ください。

⇒ 廊下側面に20メートルおきに設置してありますので、ご確認ください。

(3) 災害発生時の緊急連絡先をご確認ください。

⇒ 管理事務室（内線1000番）へ、ご連絡ください。

(4) 避難導線上に障害物等がないか確認してください。

⇒ 障害物がある場合は、撤去をお願いします。（消防用設備や避難誘導灯も同様にご確認ください。）

(5) 関係者への非常時における役割を周知してください。

⇒ 催事運営に関わるスタッフの皆様へ、避難誘導や非常アナウンス等の役割を事前に周知願います。

※非常時においては、センタースタッフへのご協力をお願いします。

2. 災害発生時の対応

(1) 地震

①まずは、身の安全を確保してください

⇒ 揺れている間に、お客様に「椅子の間に身をかがめて下さい。」と呼びかけをお願いします。

②揺れがおさまったらすぐに状況確認を

⇒ 揺れがおさまったらすぐにけが人の有無等、状況を確認してください。同時に会場のドアを開放してください。

③必要に応じてお客様を屋外へ

⇒ 地震が発生すると、お客様は一般に屋外へ出ようとする傾向があります。

駆けつけたセンタースタッフとともに、お客様を屋外駐車場へ避難誘導しますので、ご協力ください。

※災害時にはエレベーター・エスカレーターは使用できません。

④お客様へ逐次、情報提供を

⇒ お客様は情報が入手できないために不安になります。センタースタッフが速やかな情報収集に努めますので、お客様が落ち着いて行動できるよう、逐次情報提供にご協力ください。

(2) 火 災

①火災を発見した際は、大声で「火事だ！」と叫びます。

⇒ 周辺の方に火災を知らせてください。周りの方に管理事務室へ火災発生の旨を知らせるようお願いいたします。

②初期消火を行います。

⇒ センタースタッフが現場に急行します。近くにある消火器で初期消火にご協力下さい。

※初期消火が可能な炎は背丈程度とされています。天井部まで届くような炎は、消火器では、消火できません。決して無理をせず、避難してください。

③お客様を安全に屋外へ誘導して下さい。

⇒ センタースタッフとともに、避難誘導にご協力下さい。

火災がボヤなどからの小規模な場合でも、有毒ガスが発生する危険性は非常に高く、煙による被害が重大です。お客様の避難誘導時には姿勢を低くしてハンカチで鼻と口を押さえ、煙を吸わないよう呼びかけをお願いいたします。

④お客様の確認をお願いします。

⇒ 屋外への避難が完了した時点で、催事への参加人数等からお客様の逃げ遅れ等の有無を確認してください。

⑤お客様へ逐次、情報提供をお願いします。

⇒ お客様は情報が入手できないために不安になります。センタースタッフが速やかな情報収集に努めますので、その情報をお客様に逐次提供していただきますよう、ご協力ください。

(3) 停 電

①お客様に慌てないよう呼びかけをお願いします。

⇒ 照明が消えて館内が暗くなると、お客様は不安になったり、いら立ったりしがちです。停電の状況や復旧の目処などについて、管理事務室がアナウンスしますが、お客様が咄嗟にパニックを起こさないよう、お客様への呼びかけをお願いします。※灯りとしてライターが使用されないよう注意して下さい。

②まず会場のドアをあけてください。

⇒ 日中であれば、会場のドアを開けることで外光の明るさがあります。夜間においても、非常用発電機が起動し、誘導灯等が点灯しますので、お客様を誘導願います。

③お客様へ逐次、情報提供をお願いします。

⇒ お客様は情報が入手できないために不安になります。センタースタッフが速やかな原因究明に努めますので、その情報をお客様に逐次提供していただきますよう、ご協力ください。

④催事の中止の判断と伝達をお願いします。

⇒ 復旧の見込みがない場合には、催事の中止等を検討ください。また、お客様に対し、その決定事項のアナウンスにご協力ください。

(4) 異 臭

①現場から離れるよう呼びかけをお願いします。

⇒ 異臭の発生源を特定できた場合、被害の拡大を防ぐために、むやみに発生源に近寄ったり、倒れている人に近寄ったりしないようにしましょう。

(ガスが皮膚から浸透する危険があります。)

②管理事務室へ連絡を

⇒ 管理事務室へ異臭発生の旨を知らせるようお願いいたします。(内線1000番)

③お客様を安全に屋外へ誘導します。

⇒ お客様等を館外へ避難誘導します。異臭の原因が有毒ガスなどであった場合には、お客様を避難させることを最優先としますが、主催者の方もお客様同様に避難する必要があります。

※避難の際は、ハンカチ等で口と鼻を押さえ、向かい風の方向に避難誘導します。

(5) 不審者・不審物

不審者または不審物を発見した場合には、声をかけたり手を触れたりせずに管理事務室へご連絡ください。

(内線1000番)

また、不審者を発見した場合には、他のスタッフ等と連携し、警備員が到着するまでの間、見失わないようご協力ください。

(6) 病人・負傷者

病人または負傷者が発生した場合、速やかに管理事務室へその状態をお知らせください。センタースタッフが現場に急行いたしますので、その指示に従い、ご協力願います。

※施設内には、AED（自動体外式除細動器）が1階管理事務室前と2階小ホール前の計2台設置されています。

2 Jアラート（全国瞬時警報システム）発令時の対応について

全国瞬時警報システム（通称：J-A L E R T（ジェイアラート）は、対処に時間的余裕がない大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃などについての情報を「国から住民まで直接瞬時に」伝達するシステムです。

本施設が開館中に「ミサイル発射」などの情報伝達があった場合、主催者はセンタースタッフの指示に従い、下記の避難行動をお願いします。

- ① **Jアラートが鳴動した場合**、パニックを防止するため、必ず主催者およびセンタースタッフの指示に従って行動するよう呼びかけてください。
- ② **ミサイルが発射された場合**、極めて短時間で日本に飛来すると予想されるため、直ちに催事を中止し、速やかな避難行動をお願いします。予め、Jアラート鳴動の際には催事は直ちに中止することをご認識ください。
- ③ ミサイルが付近に着弾する可能性に備え、できるだけ窓ガラスから離れ、主催者およびセンタースタッフの指示に従い、直ちに安全なエリアへ移動するよう誘導してください。特に、南口・西口・エントランス中庭・中ホール前・会議室棟中庭のガラス面から離れ、緊急用館内放送およびセンタースタッフによる声掛けに従ってください。
- ④ **ミサイルが日本の領土、領海内に落下したと推定された場合**、落下場所等についての続報が入り次第、センタースタッフから情報提供いたします。主催者はセンタースタッフからのアナウンスがあるまで、そのまま安全なエリアに留まってください。また、ミサイルの動向が確認された場合でも、事態が鎮静化しない特殊な状況の場合には、お客様に緊急用館内放送等にてその場に留まるよう指示するとともに情報提供を行いますので、ご協力をお願いします。
- ⑤ 万が一、本施設又は付近に落下物、着弾などがあった場合は、口と鼻をハンカチで覆ってください。けがをされた方がいた場合は、センタースタッフが応急救護活動を実施します。
- ⑥ 政府からの続報について、センタースタッフが速やかに情報収集に努め、正確な情報のみをお知らせしますので、その情報をお客様に逐次提供いたしますよう、ご協力ください。また安全が確認されるまでセンタースタッフの指示に従ってください。
- ⑦ **ミサイルが日本の領域以外の海域や上空を通過したことが確認された場合**、センタースタッフより避難解除のお知らせを主催者及びお客様への双方へ行います。
- ⑧ **施設の内外で不審な物を発見した場合**は、決して近寄らず、直ちに付近のスタッフにお知らせ願います。

※ Jアラートの対応方法は、避難行動の指針がその時々々の脅威の対象や政治情勢により変更となるため、政府指針・指導を第一とし、適宜情報更新を行います。ご利用当日の対応については皆様のご協力をお願いします。

縮尺(S=1/600)

